

ICTを用いた小児医療人材育成プログラムの開発

看護学部 本田 順子



キーワード

ICT, シミュレーション, 小児医療

研究概要

成人に比べて小児人口は少なく、地域や施設によっては小児科医としての経験、看護師の経験も限られている。小児診療の特徴は、疾病の診断・治療とともに総合的に成長・発達を診ていくところにあり、成人に用いる問診や診察技術、看護技術だけでは小児に対応することは難しいため、小児医療に携わる医療者のトレーニングが急務である。

本研究では、最新型の小児高機能シミュレーターを用い、シミュレータなどの製品をどうすれば最大限に活用できるのか、OJT/継続教育のためにはどのようなツールやシナリオが必要か、トレーニングの場をどう確保するかなど小児医療実践の質の向上を目指す研究を産学医連携で実施している。

アピールポイント

- ・県立はりま姫路総合医療センター看護部、小児科との協働による教育ツールの開発、実践・評価ができる
- ・小児の高性能シミュレーターが揃う兵庫県下唯一の施設である。
- ・先端医療工学研究所にて、異分野交流と産学医連携により遠隔シミュレーション教育が実現できる
- ・ICTを用いて教育プログラムを遠隔発信し、小児医療の質の向上に貢献する。

応用分野

- ・シミュレーション教育は医学や看護学だけでなくさまざまな分野で応用可能である。

